

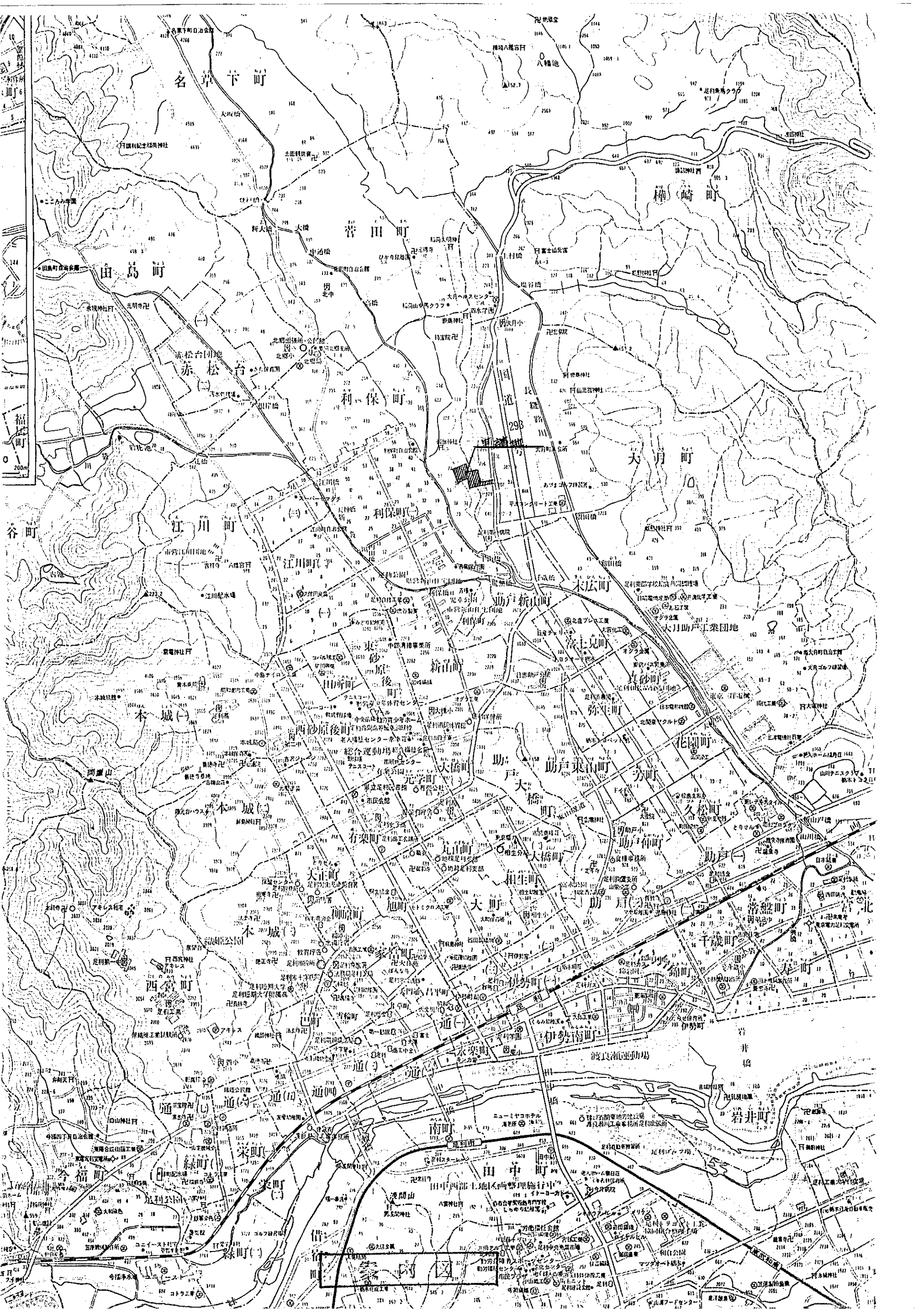
## ご 注 意

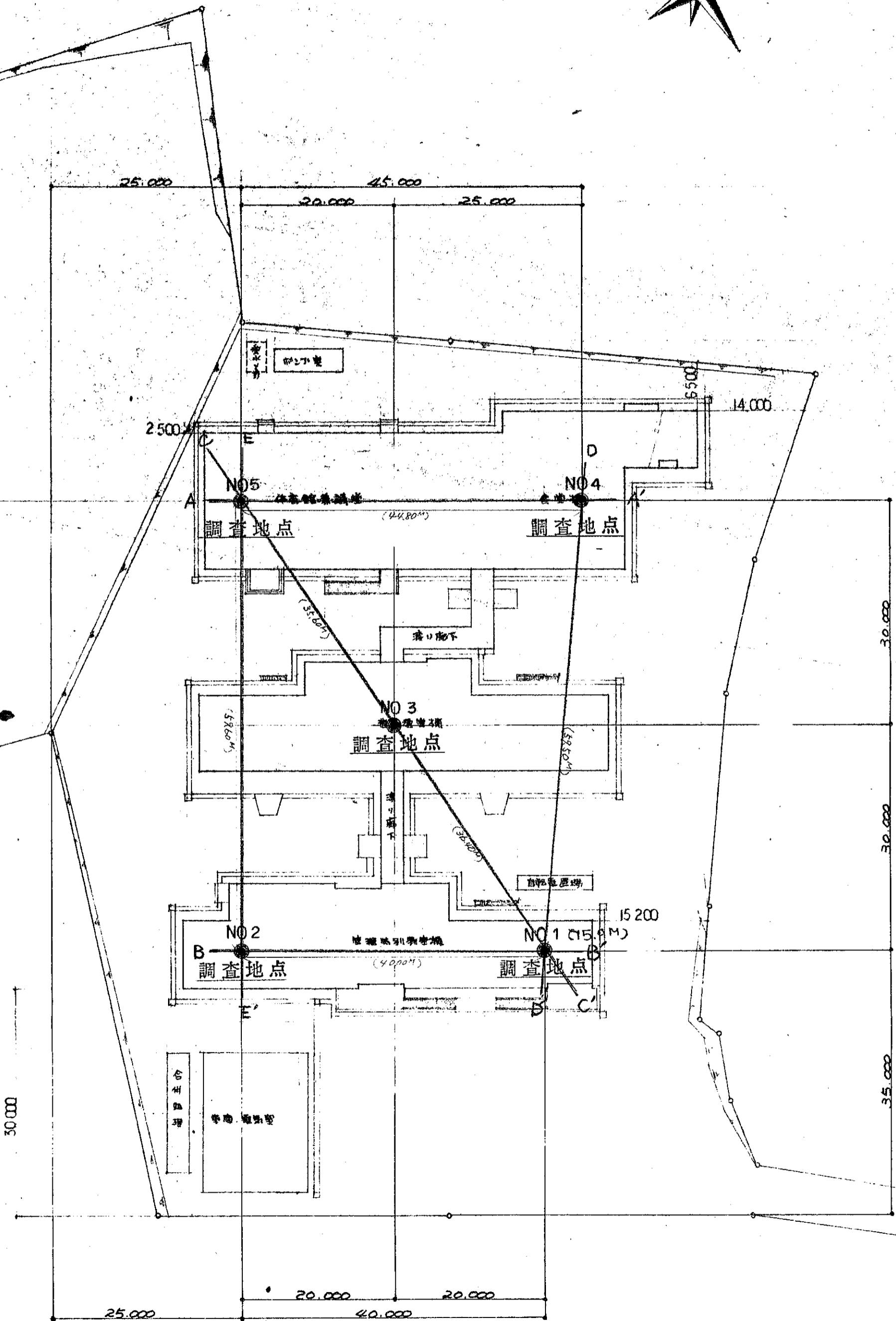
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課





位置図  $S = \frac{1}{500}$

# 土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

栃木県立安足地区養護学校(仮称)

調査名・調査地点 新築工事に伴う地質調査

標 高 GL-(+1.48) m

調査年月日 59年3月12日~59年3月14日

ボーリング孔: No. 1

孔内水位 GL- 1.05 m

調査担当者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取								
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃回数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数			N 値						試料番号	採取方法		
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	60			
1	+0.38	1.10	1.10	X	埋 土	暗 茶 灰	含水(大)上部約40~50%前後の碎石が散在。ローム粘性土の混合土。	1.15	16/30	5	5	16										
2				ハ			含水(中)。腐植物、有機物、浮石混在。約20%~30%前後の角礫散在。小石、粗中粒砂混在。	1.45	8/30	2	2	3										
3				ハ				2.45	11/30	3	4	4										
4	-2.22	3.70	2.60	ハ	凝灰質粘土	乳 黄 灰	含水(中)。最大礫径約50%前後。角礫、粗粒砂多量混在。粘土層に又不規則に挟有。	3.15	50/5	50	5											
5				ハ				3.45	50/5	50	5											
6				ハ				4.15	50/4	50	4											
7	-5.32	6.80	3.10	ハ	粘土混り砂礫	黄 泥 灰	含水(中)。土部不規則に泥灰岩0.20~0.30m程度に挟有。角礫0.15m程度。局部的に軟砂岩層0.20~0.50m位に挟有。多量に面状性の石灰質帯状に挟有。全体にコア状に若干の風化状を呈す。	4.15	50/3	50	3											
8				ハ				4.20	50/4	50	4											
9				ハ				5.15	50/3	50	3											
10				ハ				5.19	50/3	50	3											
11				ハ				6.15	50/3	50	3											
12				ハ				6.18	50/4	50	4											
13				ハ				7.15	50/1	50	1											
14				ハ				7.19	50/3	50	3											
15	-13.61	15.07	8.29	ハ	泥 岩	暗 黒 青		7.19	不能													
16				ハ				8.00	50/2	50	2											
17				ハ				8.11	50/1	50	1											
18				ハ				9.15	50/1	50	1											
19				ハ				9.16	50/3	50	3											
20				ハ				10.15	50/3	50	3											
21				ハ				10.18	50/2	50	2											
22				ハ				11.15	50/2	50	2											
23				ハ				11.17	50/1	50	1											
24				ハ				12.15	50/6	50	6											
25				ハ				12.16	50/6	50	6											
26				ハ				13.15	50/2	50	2											
27				ハ				13.21	50/2	50	2											
28				ハ				14.15	不能													
29				ハ				14.17	不能													
30				ハ				15.00	不能													
				ハ				15.07	不能													

備 考:

- 試料採取方法の記号
- デニソン型サンプラー
  - シンウォールサンプラー
  - ⊕ フォイルサンプラー
  - 貫入試験用サンプラー
  - × その他





土質柱状図

報告用紙

栃木県立安足地区養護学校(仮称)

調査名・調査地点

新築工事に伴う地質調査

標高

GL-(+1.70) m

調査年月日 59年3月17日~59年3月18日

ボーリング孔: No

3

孔内水位

GL- 1.10 m

調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録				標準貫入試験							試料採取							
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数			N 値							試料番号	採取方法	
									10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	60				
1	+0.80	0.90	0.90		埋土	暗茶灰	含水(%) 44~50%前後の砂礫石、礫石、ロームの混合	1.15	17													
2							含水(%) 40~50%前後の粗中粒砂混在、所々0.3~0.5mmの砂層と接するが全体に凡化軟弱な所あり。	1.45	30	6	6	7										
3								2.15	50													
4								2.37	16	31	17											
5								3.15	50	50	9											
6								3.24	9	9												
7								4.15	50	50	7											
8								4.22	7	7												
9								5.15	50	50	3											
10								5.18	3	3												
11								6.15	50	50	3											
12								6.18	3	3												
13								7.00	不能													
14								7.05	不能													
15								8.00	不能													
16								8.04	不能													
17								9.00	不能													
18								9.05	不能													

備考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

- ⊙ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

# 土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

栃木県立安足地区養護学校(仮称)

新築工事に伴う地質調査

標 高 GL-(+1.86) m

調査年月日 59年3月19日-59年3月21日

ボーリング孔: No. 4

孔内水位 GL- 1.10 m

調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現 場 観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取							
				土質記号	土質名	色調	記 事	深さ m	打撃回数 貫入量 cm	10cmごとの打撃回数			N 値						試料番号	深さ m	採取方法
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50			
1	+1.86	0.00					含水(大) 破砕状片、ローム、 粘性土の混合土。	1.15	2/32	1/18	1/14										
2	-0.74	2.60	2.60		埋	工	暗茶灰	2.15	2/35	1/18	1/17										
3							含水(中) 腐植物、有機物、浮石 混在。	3.15	50/6	50/6											
4							鉄分帯状に挟有。 若干粘性帯土	4.00	不能												
5							GL-6.90m迄風化状を 呈す。	4.06	50/4	50/4											
6							暗黄灰	5.15	50/4	50/4											
7		6.90					深径GL-7.00mより コア採取状に採取出来ず。	6.00	不能												
8								6.03	"												
9								7.00	"												
10							泥	7.02	"												
11							岩暗黒青	8.00	"												
12								8.04	"												
13								9.00	"												
14								9.04	"												
15								10.00	"												
16								10.07	"												
17																					
18																					
19																					
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					

備 考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

- ◎ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

# 土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

栃木県立安足地区養護学校(仮称)

調査名・調査地点 新築工事に伴う地質調査

標 高 GL-(+1.84) m

調査年月日 59年3月15日~59年3月18日

ボーリング孔: No. 5

孔内水位 GL- 1.15 m

調査担当者

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験							試 料 採 取								
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃 回数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数			N 値					試料 番号	深さ m	採取 方法			
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40				50	60	
	+1.84	0.00																					
1	+1.14	0.70	0.70	埋	土暗茶灰		含水(水), 破砕石, 石炭, 粘性土の混合土.	1.15 1.17	50 2	50 2													
2							含水(水), 石炭, 石灰片混在.	2.00 2.05	不能														
3							2P-採取礫状に採取出来る.	3.00 3.02	"														
4							上層若干亀裂状を呈す 全体に全風化破砕状 礫に安定な基盤を呈す.	4.00 4.03	"														
5								5.00 5.02	"														
6								6.00 6.06	"														
7								7.00 7.05	"														
8								8.00 8.03	"														
9	-7.21	9.05	8.85	泥	岩暗黒青			9.00 9.05	"														
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
21																							
22																							
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							
28																							
29																							
30																							

備 考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

- ⊙ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

